

私は駅の
清掃員

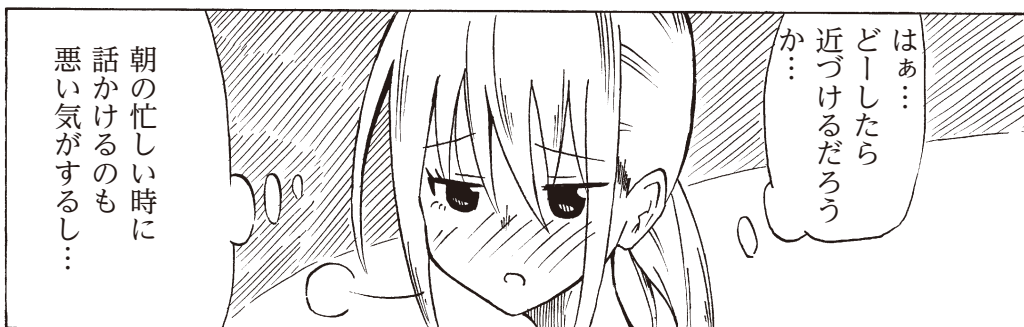
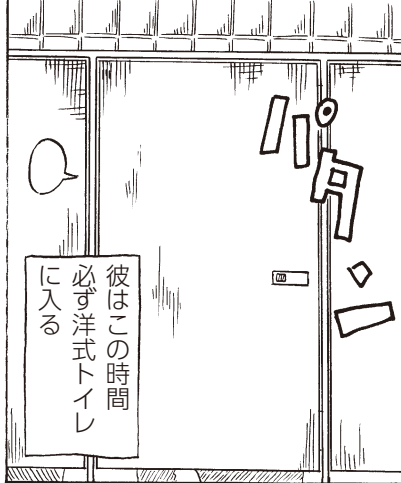
毎朝7時半は
トイレの掃除を
している

もちろん
男子トイレの
清掃も
仕事の一つ

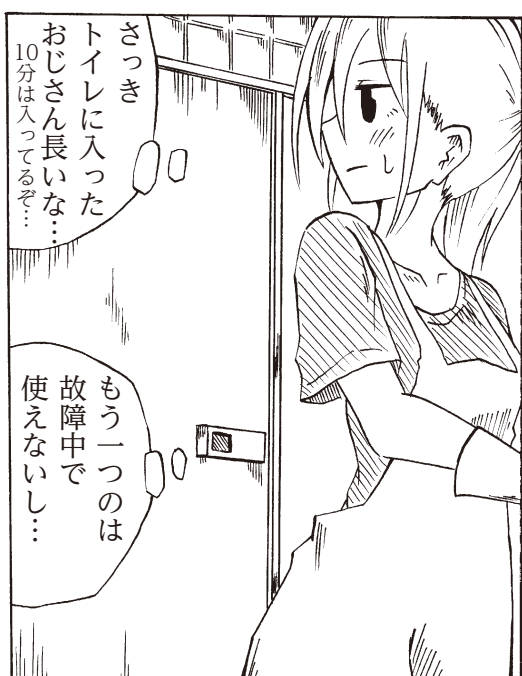
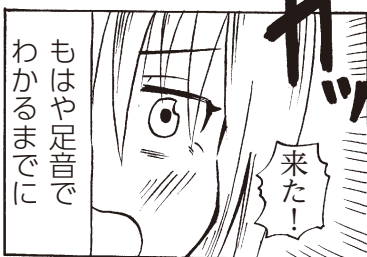
しかし
私は――

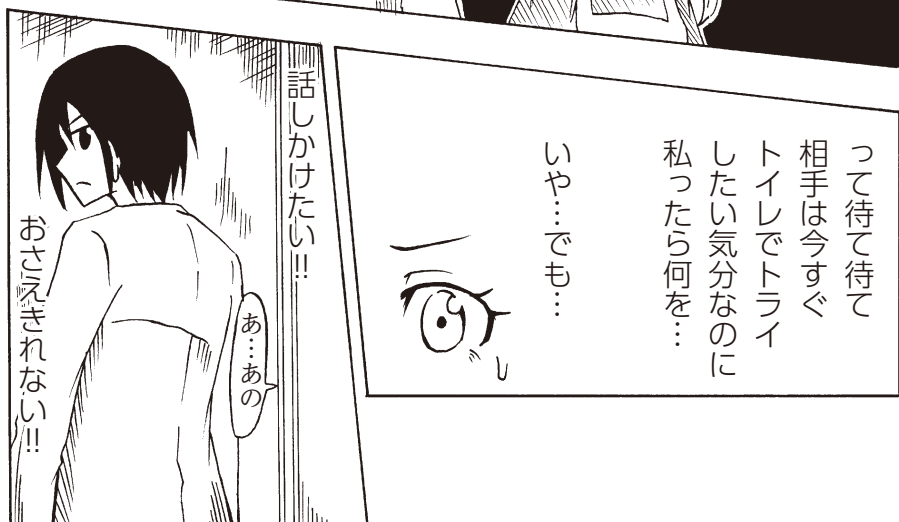
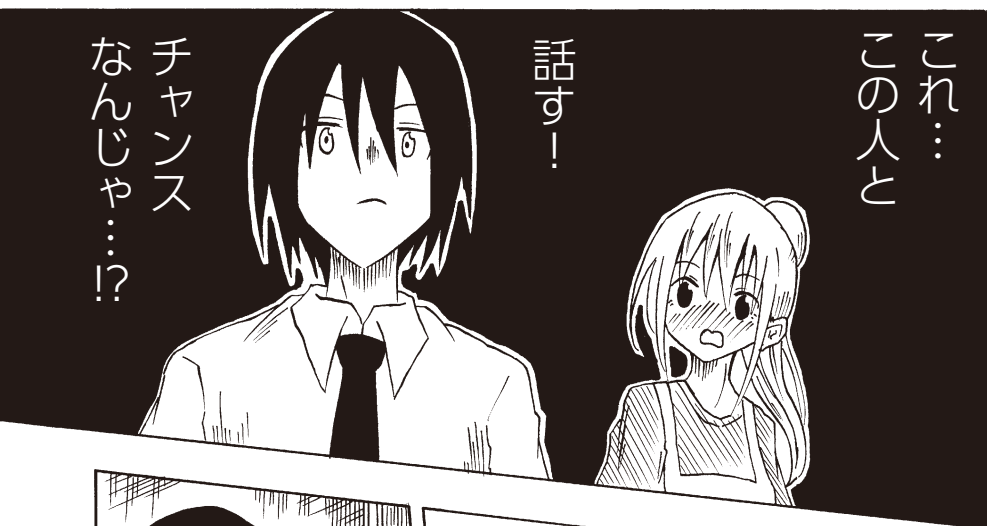
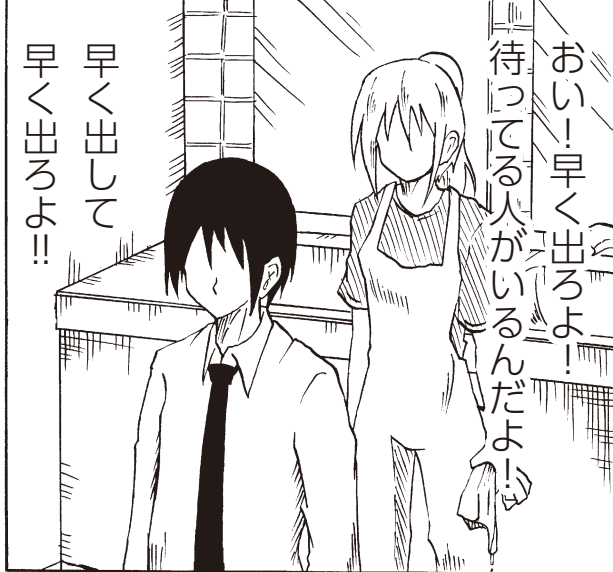
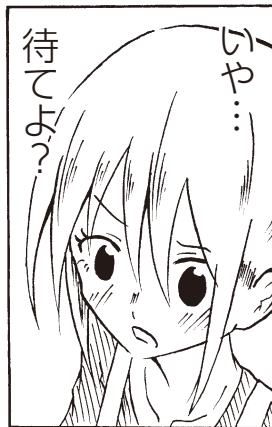
この時間
必ず来る
この人に

恋を
していた――
(二目惚れ)



そんなある日——



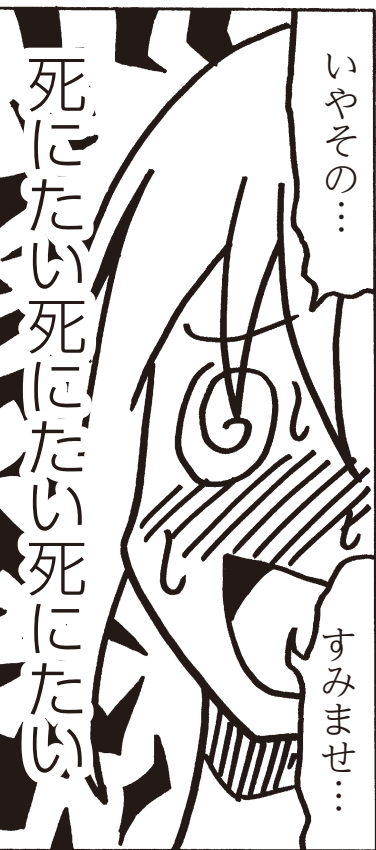


トイレ
するの

好きな
ですか？

え

え



死にたい死にたい死にたい

いやその…

すみませ…

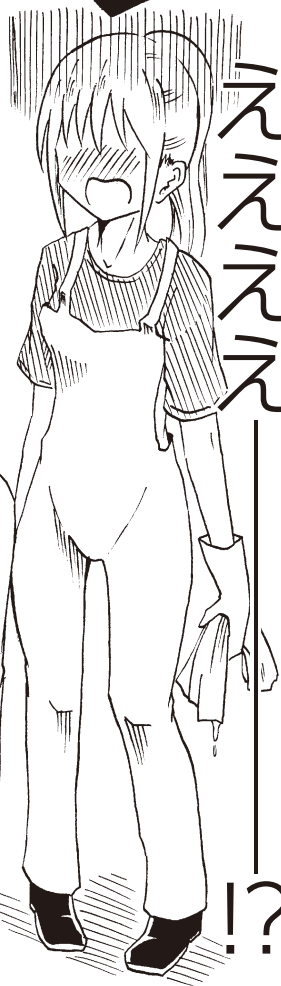
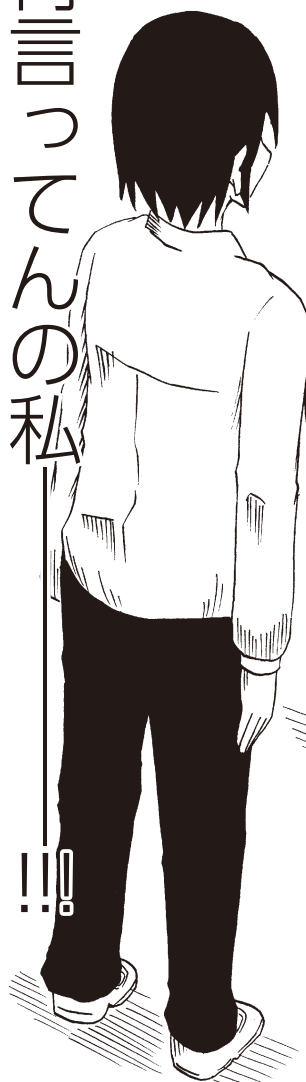


はい！

ズーン

何言ってるんの私

!!!



えええええ

!?



何言ってるの？



好きです

トイレ
するのが



出る出るという
ギリギリの所まで
我慢しての

トイレ

全てを
吐き出したような
高揚感

マジで

何言ってるの!?

